横須賀美術館は 2026 年９月５日（土）に再オープンします！

再オープン記念展は「島田章三展」「所蔵品展」「谷内六郎館」全館選りすぐりのコレクションを公開

横須賀美術館　全景

島田章三《ミナトヨコスカ》2007 年

1　概要

横須賀美術館は、2025 年 11 月より実施していた改修工事を終え、2026 年 9 月 5 日（土）に再オープンいたします。装い新たな横須賀美術館で、みなさまをお待ちしています。

■改修工事を経て、より快適な鑑賞環境へ

約 10 ヶ月間の改修工事を経て、設備・外観のメンテナンスを実施しました。あわせて、より深く作品をお楽しみいただけるよう、作品データベースの公開や、作品解説の充実（音声ガイド、手話動画の拡充）を図ります。

■再オープンを飾る、選りすぐりのコレクション展

開館から 19 年、当館のコレクション（所蔵品）は 6,000 点を超えました。

再オープン第一弾となる展覧会は、開館から培ってきたコレクションに、最近加わった作品を加え、全館を使って、変化してきた当館のコレクションをご紹介いたします。

― 企画展は油彩、版画、水彩に新収蔵品を加えた約 130 点を展示する「島田章三展」を開催

・全点コレクションによる島田章三展は初めての開催となります。

― 地階の吹き抜け空間では、特集展示として横須賀ゆかりの作家、丸山純子による近・新作インスタレーションをご紹介

・地階の所蔵品展示室では、近年、新収蔵となった作品約 40 点のお披露目と、吹き抜け空間を活かした特集展示を開催します。

― 谷内六郎館は、週刊新潮表紙絵に加え、今会期から新資料を加えた「谷内六郎展」を開催

■再オープン関連イベントとしてミュージアムトークや、プレイベントも開催

再オープン初日の９月５日（土）には、館内を巡るミュージアムトークを企画しています。また、これに先駆けて８月には、野外シネマパーティーなどのプレイベントも予定しています。

＊各種イベントの詳細については、当館ウェブサイトにて順次公開いたします。
https://www.yokosuka-moa.jp/event/

２　再オープン記念展～会期・会場・主催・見どころ

展 覧 会 名：**再オープン記念　没後１０年　横須賀美術館コレクションによる島田章三展**
会　　期：令和８（2026）年９月５日(土）～11 月３日（火・祝）
休　館　日：９月７日（月)、10 月５日（月)、11 月２日（月）
主　　催：横須賀美術館
会　　場：1 階企画展示室
観　覧　料：一般 1,200 円、高大生・65 歳以上 1,000 円、中学生以下無料

展 覧 会 名：**再オープン記念　令和８年度第１期所蔵品展および谷内六郎展**
会　　期：令和８（2026）年９月５日(土）～令和９（2027）年１月 17 日（日）
休　館　日：９月７日(月)、10 月５日(月)、11 月２日(月)、12 月７日(月)、
12 月 29 日(火)～1 月 4 日(月)
所蔵品展・谷内六郎館 無料観覧日：11 月３日(火・祝)
主　　催：横須賀美術館
協　　賛：一般財団法人　シティサポートよこすか
会　　場：地階所蔵品展示室および谷内六郎館
観　覧　料：一般 450 円、高大生・65 歳以上 350 円、中学生以下無料

問い合わせ先：横須賀市コールセンター046-822-4000（月～金曜日：8:30～17:15、土日祝休日：8:30～16:00）

見どころ１　当館初代館長　島田章三の作品を全点展示

島田章三は、横須賀に生まれ、日本芸術院会員（1999 年)、文化功労者（2004 年)、横須賀美術館初代館長（2007-2011 年）をつとめた地域ゆかりの洋画家です。本展では、没後 10 年を機に、当館が所蔵する島田作品約 130 点を初めて全点展示し、横須賀を描いた油彩やパリで描いた素描、版画作品に加え、愛用のイーゼルやパレットなどもご覧いただきます。

島田章三《スザンナの部屋》1967 年

見どころ２　横須賀ゆかりの美術家・丸山純子を特集展示

横須賀に在住する丸山純子は、人々の生活の痕跡や記憶が残る、身の回りの素材を用いながら「再生」や「循環」をテーマに制作を続けています。本展においては、スーパーのビニール袋やレジ袋を素材に、新たな試みを加え、花畑をワークショップ参加者と共に制作、展示します。会期中も咲き広がり、変化してゆく参加型のインスタレーション作品が見どころです。

丸山純子《ひかりとり》2023 年
無人駅の芸術祭展示風景／撮影：中川達彦

見どころ３　月や星、夜空をめぐる谷内六郎の空想世界

代表作である『週刊新潮』表紙絵はもちろん、再オープンにあたり、近年ご遺族から寄贈された新収蔵作品も併せて展示し、表紙絵とはまた異なる魅力を持つ作品をお披露目していきます。

今会期のテーマは「月のひかり、星のきらめき」です。『週刊新潮』の表紙絵から、星や月、夜空を描いた作品を取り上げます。また新収蔵作品からは、谷内が文と絵を手がけた絵本『びんのそら』原画をご紹介します。

谷内六郎《『びんのそら』原画》1972 年
©Michiko Taniuchi

【要旨用短文】

100 字　改修を経て再オープンする横須賀美術館。新収蔵作品を含む充実したコレクションを生かし、島田章三展、所蔵品展、谷内六郎展を開催します。
横須賀ゆかりの作家・丸山純子による特集展示や、多彩な関連事業も実施します。

50 字　改修後、再オープンする横須賀美術館。コレクションを生かした島田章三展、横須賀ゆかり作家による特集展示など開催。

20 字　改修を終えた横須賀美術館で多彩な展覧会を開催。

プレスリリース関連の問い合わせ先　横須賀美術館　〒239-0813　横須賀市鴨居 4-1
〇ホームページ　https://www.yokosuka-moa.jp
　E メール　kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp
〇取材・画像提供に関すること　総務係：安陪、甲斐　電話 046-845-1211
〇展示内容に関すること　学芸担当：日野原、工藤、立浪　電話 046-845-1212

【図版の使用等について】

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

・「申込書」に記載のある画像以外は使用できません。

・作品画像は全図で使用してください。
　トリミングや文字のせなど、画像の加工・改変はできません。

・画像データ使用は、本展覧会の紹介のみとします。

・申込書に記載してあるとおりのキャプション表記をお願いします。

・WEB に掲載する場合は、解像度 72dpi 以下とし、コピーガード（右クリック不可）を
　施してください。

・再放送、転載など二次使用の場合、別途お申込みが必要です。

・その他、著作権により使用制約がある場合や、ご希望に添えない場合がございます。

・原稿は掲載前に必ず当館「総務係」の確認を得てください。確認に期日を要するため、予め余裕をもってお送りください。

・展覧会場の取材、撮影をご希望の場合、「総務係」までご連絡ください。来館者の安全な鑑賞環境を優先するため、ご希望に添えない場合もございます。また、事前にご連絡のない取材、撮影はお受けできません。

・掲載誌（紙）、媒体（DVD など）、URL などを「総務係」あてに１部以上お送りください。

【プレゼント用招待券について】

読者・視聴者へのプレゼント目的に限り、本展覧会会期中有効のご招待券を 20 枚（10 組 20 名様分）までご提供します。ご希望の方は、「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

【交通のご案内】

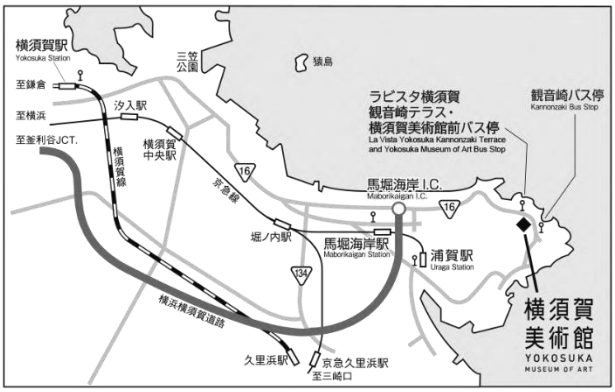
■電車をご利用の場合

＊京急線「馬堀海岸」駅もしくはJR「横須賀」駅から観音崎行バス「ラビスタ横須賀観音崎テラス・横須賀美術館前」下車徒歩２分

＊京急線「浦賀」駅から観音崎行バス終点「観音崎」下車徒歩５分

■車をご利用の場合

＊横浜横須賀道路馬堀海岸Ｉ.Ｃ.から約3km（約５分）



横須賀美術館９月５日再オープン

掲載図版／チケットプレゼント申込書

FAX：０４６－８４５－１２１５　横須賀美術館 行き

掲載図版ならびにチケットプレゼント用招待券（ペア 10 組分／20 枚）をご希望の方、下記へご記入の上 FAX にてご請求ください。必要な図版に☑をつけてください。

□	□	□
横須賀美術館　全景	島田章三《ミナトヨコスカ》2007 年	島田章三《スザンナの部屋》1967 年
□	□	□
丸山純子《ひかりとり》 2023 年、無人駅の芸術祭展示風景 ／撮影：中川達彦	谷内六郎《『びんのそら』原画》1972 年 ©Michiko Taniuchi	谷内六郎《月夜しずくの思い出》1980 年 ©Michiko Taniuchi

必ずご記入ください⇒　貴社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ TEL.＿＿＿＿＿＿＿＿

貴誌（紙）名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ご担当者様お名前＿＿＿＿＿＿＿＿

メールアドレス（画像データ送付先）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご要望事項（サイズ・解像度など）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

チケットプレゼント用招待券　□　希望する　　□　希望しない

ご住所（チケット送付先）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿